

日本歯科麻醉学会雑誌

JOURNAL OF JAPANESE DENTAL SOCIETY OF ANESTHESIOLOGY

2021年
第49巻抄録号

第49回 日本歯科麻醉学会総会・学術集会
(オンライン開催)

会期：2021年10月9日(土)～11月7日(日)

プログラム・抄録

日 齒 麻 誌

J. Jpn. Dent. Soc.
Anesthesiol.

一般社団法人 日本歯科麻醉学会

<http://kokuhoken.net/jdsa/>



第 49 回

日本歯科麻酔学会総会・学術集会

The 49th Annual Meeting of the Japanese Dental Society of Anesthesiology

会 長 藤澤俊明

北海道大学大学院歯学研究院歯科麻酔学教室 教授

プログラム・抄録集

Program and Abstracts

会 期 2021 年 10 月 9 日 (土)～11 月 7 日 (日)

第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会はオンライン開催 (ライブ・オンデマンド) です!

この度、第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集회를開催させていただくことになりました。ご支援、ご協力いただいた関係者の皆様方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

当初、札幌教育文化会館でのオンサイト開催を予定していましたが、コロナ禍が収束せず、昨年に引き続き、オンライン開催を余儀なくされました。極力双方向性の議論ができることを目指しましたので、会員の皆様、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

会期は10月9日(土)から11月7日(日)までです。期間中何度でも視聴・閲覧できるオンデマンド配信が10月9日(土)から11月7日(日)までの1か月間、ライブ配信が10月9日(土)、10日(日)の2日間です。

指定講演(特別講演、久保田康耶記念講演、教育講演、宿題報告、学会企画教育講座)、シンポジウム、ランチョンセミナーはライブ配信です。ZOOMが提供するweb会議ツールによるライブ配信時に、視聴者は、挙手機能を利用し座長の承認操作を経てリアルタイムで質問することができます。演者の許可をいただけたら、ライブ配信後(数日後の予定)にビデオ-オンデマンドでも配信し、オンデマンド期間中いつでも視聴できる方式をとる予定です。

日本歯科麻酔学会最優秀発表賞(デンツプライシロナ賞)候補演題発表、認定講習会はビデオ-オンデマンド配信です。一般講演は電子ポスターを用いたオンデマンド配信(閲覧)です。

本学術集会のテーマは、「歯科麻酔臨床における両輪～エビデンスと匠の技～」とさせていただきます。個々の英知を集約して、日本歯科麻酔学会全体としてエビデンスと匠の技を兼備することが大切と思います。このテーマで、皆様方の実りある勉強の機会にさせていただけたら本望と思います。本大会のプログラムを企画しました。

特別講演は2題です。小山哲男先生(兵庫医科大学特別招聘教授)には、「論理構成の匠」の立場から、英語論文、日本語論文、学会発表等に役立つ論理構成や作図の方法についてお話しいただきます。また、伊藤陽一先生(北海道大学病院教授)には、生物統計学専門家の立場から、質の高い観察研究を行うにあたりどのようにデータを選択したら良いかお話しいただきます。

久保田康耶記念講演では、渋谷 鑛先生(日本大学客員教授)に、「歯科医学史の専門家」の立場から、医歯原論の歴史的経緯と日本の歯科麻酔学との関係についてお話しいただきます。

教育講演は3題です。内田洋介先生(北海道大学病院麻酔科)には、基礎的かつ臨床的見地から術後認知機能障害について、小畑 真先生(小畑法律事務所)には、元歯科麻酔医であった弁護士の立場から法的拘束力がない診療ガイドラインが、裁判実務ではどのように使用されているかについて、奥田真弘先生(愛知学院大学歯学部麻酔学講座)には、「構造改革の匠」の立場から、AIやIoTなどの通信技術の急速進歩を見据えた、これからの麻酔科のあるべき姿について、それぞれ、お話しいただきます。

宿題報告では、工藤千穂先生（大阪大学歯科麻酔学教室）に片頭痛について、また、学会企画教育講座では、佐藤曾士先生（愛知学院大学歯学部麻酔学講座）に術前評価について、お話しいただきます。

シンポジウムは4題です。

登録医審査委員会企画として、「歯科麻酔科医に求められる患者、相談者に対するアセスメントスキル」を予定しています。安全な歯科医療の提供と多職種協働における歯科麻酔科医に求められる役割について、議論理解を深めるとのことです。会長企画として3題予定しました。「匠の技を科学する臨床研究」では、実臨床と臨床研究の二刀流で頑張っている先生たちに、その実践とご苦労について語っていただきたいと思っています。「エキスパートに聞く！歯科・口腔外科手術の気道管理のコツ」では、この道の匠の先生にご自分の臨床の技とフィロソフィーを語っていただきたいと思っています。「深鎮静の是非への一家言～安全性担保への工夫～」では、深鎮静状態での管理手法や安全性の確保について議論していただきますが、白黒つけるのではなく、各シンポジストに深鎮静に対する思いの丈を語っていただきたいと思っています。

一般演題（電子ポスター）には、座長（コメンテーター）枠を設けました。コンセプトとして、極力双方向性の議論ができることを目指します。座長には、好きな時にポスターを閲覧し、各演題につき、必ず、最低1つ、質問かコメントをサイト内の質問欄に書き込んでいただきたいと考えております。座長の質問・コメント、一般会員からの質問、および演者からの回答を含めた質疑応答集を学術集会終了後に作成し、日本歯科麻酔学会ホームページの会員専用枠内にPDF形式で掲載します。

認定講習会は3題です。専門医・認定医の更新要件のクレジットとして3題1セットで6単位取得できます。

ワークショップは2題です。実習型バイタルサインセミナーが復活し、希望者対象にオンラインでの双方向性交流を模索します。paperChartワークショップwebセミナーにも、昨年同様、作成済みサイトへのリンクにて参加できます。

オンデマンド配信の最大の利点は、いつでも、どこでも、何度でも視聴あるいは閲覧できる点です。自宅などでくつろぎつつ、北海道産の美味しい料理やスイーツを食べながら学会に参加したり、視聴の合間に、十勝ワインや小樽ワインを嗜みながら、大会ホームページにリンクが貼られた動画で北海道・札幌市・北海道大学構内の豊かな自然をvirtual体験したりと、勉強・グルメとvirtual観光の「両輪」を極めていただけたら幸甚の至りです。第49回大会にご参加いただくことを、心から願っております。

第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会

会長 藤澤俊明

北海道大学大学院歯学研究院歯科麻酔学教室教授